

産業建設委員会

平成30年度、産業建設委員会では次の政策課題を中心に調査研究を進めます。

- ① 営農推進対策事業
- ② 森林整備地域活動支援事業
- ③ 中心市街地活性化事業（関連事業を含む）
- ④ 道路新設改良事業
- ⑤ 除雪対策事業
- ⑥ 景観保全奨励事業
- ⑦ 総合交通対策事業
- ⑧ 観光事業

この中でも特に①に関する「米・営農関係」及び⑧に関する「民泊関係」の2点については、本年度内に行政に対して政策提言をすることを前提に、詳細な調査を進めています。

委員会活動報告

5月23日

地域経済構造分析の結果について（報告事項）

高山市の「ヒト」、「モノ」、「カネ」の流れを分析することによる高山市の産業構造の特性、強みなどの評価及び分析の結果について報告がありました。それによると、高山市は他地域に対して優位性のある地域資源を有効利用するとともに、消費者ニーズや技術の変化などに対応し、絶えず比較優位となる商品、サービス等を生み出していくため、人材の育成、伝統文化・伝統技術の継承、新たな生産技術の開発などへの投資を促していくことなどが重要であると説明がありました。委員からは、この結果をもとに、行政内部だけにとどまらず、市民との意見交換や事業者との協議などを通じて、効果的な施策の実

6月20日

高山市公共施設等総合管理計画（実施計画）の策定に向けた個別施設の方向性について（協議事項）

昨年6月に、市の保有施設を総合的、計画的に管理運営するための高山市公共施設等総合管理計画（基本方針）を策定しましたが、実施計画の策定に向けて、公共施設の現状を踏まえた個別施設の方向性（産業建設委員会所管分）について協議しました。本年度、市では今回取りまとめた方向性を資料に、施設のあり方について市民や関係団体と意見交換を実施し、来年度、実施計画の策定を予定しています。方向性のポイントとしては、人口動態や利用実績などを踏まえ施設のあり方を整理したことや、施設の運営が

民間で可能な場合は譲渡などにより委ねることなどがあります。協議においては、30年という長期計画だが、総合計画の更新などのタイミングで中間見直しをしていく

◆施設を民間へ譲渡する場合に不具合箇所については、ある程度修理したうえで譲渡するといった質疑応答があり、委員からは、市の諸計画の担当部署にも本計画の策定段階で入ってもらい、整合性を取ること

◆市民等との対話を綿密に実施するなど、実施計画策定に向けて丁寧に進めることなどの意見が出されました。

◆空家等を抑止するためには住民の意識を向上させることが不可欠

◆地域の特性に応じた空家等対策に期待などの意見が出されました。

高山市空家等対策に関する取り組みについて（協議事項）

空家等対策の推進にあたり、空家等の適切な管理を所有者等が自主的に行えるよう、事業者や市民等と連携し、

安全・防災、衛生などの問題改善や空家等発生の予防など、空家等の状態に即した施策による総合的な対策を進めることなどについて説明があり、その内容について協議しました。協議においては、

◆空家等対策については行政だけではなく、地域や民間事業者など全体で取り組んでいく

◆制度として今後、条例を定め進めていく

◆空家等を抑止するためには住民の意識を向上させることが不可欠

◆地域の特性に応じた空家等対策に期待などの意見が出されました。

ベトナム社会主義共和国フエ省フエ市との友好協力関係に関する覚書の締結について（報告事項）

ベトナム フエ市と、観光振興や貿易などに関する取り組み分野に

において協力する友好協力関係の覚書を7月10日に締結する旨の報告がされました。

上水道施設管理における民間委託範囲の拡大について（報告事項）

平成31年度から、指定管理者の管理範囲を取水から配水管までに拡大することや、水質調査、突発対応などの業務を指定管理業務に含めることなどについて報告がされました。

分野別市民意見交換会

4月17日に高山商工会議所との意見交換会を実施しました。中心市街地活性化やまちづくりの課題などをテーマとして、高山市の商業の現状や後継者不足、若者のU・I・Jターン、タウンマネージャ、人道橋による回遊性向上、産業連関表の活用などについて意見を交わしました。

ベトナム フエ市と、観光振興や貿易などに関する取り組み分野に